



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	16,975	36.8	7,177	26.1	1,260	17.8	1,816	35.4
2024年9月期第3四半期	12,409	28.1	5,693	25.6	1,070	30.4	1,341	32.7

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 558百万円 (△23.8%) 2024年9月期第3四半期 732百万円 (24.4%)

	経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	1,232	7.1	529	△25.0	33.53	33.42
2024年9月期第3四半期	1,150	29.9	705	18.2	45.30	44.94

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2025年9月期第3四半期	17,555		7,698		40.8
2024年9月期	13,537		7,304		50.8

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 7,158百万円 2024年9月期 6,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	18.00	18.00
2025年9月期	—	0.00	—		
2025年9月期（予想）				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	22,247	30.0	9,808	25.0	1,608	20.0	2,351	35.0	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 株式会社インゲート、株式会社CLOOK・IT、除外 1社 (社名) 株式会社蒼天

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年9月期3Q	15,794,959株	2024年9月期	15,753,559株
2025年9月期3Q	185株	2024年9月期	169株
2025年9月期3Q	15,788,376株	2024年9月期3Q	15,579,172株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、賃上げが進展し、インバウンド需要の堅調な回復を背景に、個人消費やサービス業活動に持ち直しの動きが見られ、回復基調を維持しています。一方で、主要経済圏における政策動向の変化や金融環境の不安定化、ならびに地政学的な緊張の高まりの影響を受け、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、構造的な人手不足の深刻化の影響を受け、企業は人材確保の課題に直面しています。こうした背景から、企業では業務の効率化・生産性向上に向けた動きが一層加速し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進やAIの利活用による労働基盤改革の需要が高まっています。一方、個人の働き方においては、終身雇用・年功序列を主とした労働構造に変化が見られ、自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方が加速しています。政府としても、フリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」を2024年11月に施行しました。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。昨今の状況は当社グループにとって追い風であり、2025年6月末時点で登録ユーザー数は710.7万人（前年同期比+55.9万人）、登録クライアント数は105.5万社（前年同期比+6.5万社）となりました。また、中期経営目標

「YOSHIDA300」において掲げる、売上高300億円、EBITDA（Non-GAAP）25億円、営業利益成長率+10%以上（通期）の実現に向け、既存事業の成長並びにSaaS事業を含む新規事業の拡大、M&Aに引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、コンサルティング人材が経営課題を特定し、その解決に向けてフリーランス人材による業務改善チームを組成・提供するDXコンサル事業の展開を本格的に推進しています。当期はコンサルティング人材を5名採用し、さらなる事業拡大を図っております。また、現在の主力であるエージェント領域においては、先行して実施した事業統合に続き、組織統合も実施しました。これにより、複数職種の人材を企業に提供する体制を強化し、社当たり単価の向上を目指しています。

ビジネス向けSaaS事業においては、従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が大企業や成長企業を中心に進んでいます。また、入力された従業員の工数データを元にコンサルティングで課題を特定し、フリーランス人材を活用したアウトソーシングやRPA・開発によるDX化を促進する提案も行っております。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びビジネス向けSaaS事業との親和性が高い事業への投資について、規律をもって進めています。グループイン企業のPMIは順調に推移しており、全社の成長に貢献しています。また、2024年に子会社化した株式会社インゲートおよび株式会社CLOCK・ITの統合を行い、構造改革による利益向上も推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高16,975,361千円（前年同期比36.8%増）、売上総利益は7,177,407千円（前年同期比26.1%増）、営業利益は1,260,630千円（前年同期比17.8%増）、EBITDA（Non-GAAP）は1,816,396千円（前年同期比35.4%増）、経常利益は1,232,255千円（前年同期比7.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は529,437千円（前年同期比25.0%減）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は16,056,243千円（前年同期比36.2%増）、売上総利益は6,326,524千円（前年同期比24.4%増）、セグメント利益は1,268,634千円（前年同期比17.7%増）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は835,121千円（前年同期比57.1%増）となり、セグメント利益は37,004千円（前年同期のセグメント損失は69,336千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は17,555,213千円となり、対前期末比で4,018,131千円増加いたしました。

流動資産は対前期末比で1,586,729千円の増加となり、その主な内訳は、現金及び預金が1,053,401千円、売掛金及び契約資産が544,261千円増加したものであります。固定資産は対前期末比で2,431,401千円の増加となり、その主な内訳は、のれんが2,163,967千円増加したものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は9,856,586千円となり、対前期末比で3,623,964千円増加いたしました。

流動負債は対前期末比で1,032,779千円の増加となり、その主な内訳は、短期借入金が394,687千円、未払金が342,674千円、未払法人税等が118,531千円増加したものであります。

固定負債は対前期末比で2,591,185千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金が2,584,624千円増加したものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,698,627千円となり、対前期末比で394,166千円増加いたしました。

その主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益529,437千円の計上及び剰余金の配当283,561千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月5日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,960,365	7,013,767
売掛金及び契約資産	1,607,772	2,152,033
未収入金	941,949	904,767
その他	344,016	367,668
貸倒引当金	△26,458	△23,860
流動資産合計	8,827,646	10,414,376
固定資産		
有形固定資産	43,575	26,156
無形固定資産		
のれん	2,081,229	4,245,197
その他	3,859	1,596
無形固定資産合計	2,085,088	4,246,793
投資その他の資産		
投資有価証券	1,952,023	1,919,728
その他	634,726	959,684
貸倒引当金	△5,978	△11,525
投資その他の資産合計	2,580,771	2,867,887
固定資産合計	4,709,436	7,140,837
資産合計	13,537,082	17,555,213
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,432,225	1,826,912
未払金	1,260,199	1,602,873
未払法人税等	318,412	436,943
契約負債	558,841	561,811
預り金	1,283,218	1,294,750
その他	681,558	843,942
流動負債合計	5,534,455	6,567,234
固定負債		
長期借入金	601,508	3,186,132
その他	96,658	103,220
固定負債合計	698,166	3,289,352
負債合計	6,232,622	9,856,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,784,693	2,802,698
資本剰余金	2,889,136	2,907,141
利益剰余金	1,165,598	1,411,475
自己株式	△237	△262
株主資本合計	6,839,190	7,121,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,412	37,829
その他の包括利益累計額合計	40,412	37,829
新株予約権	316,241	399,763
非支配株主持分	108,616	139,981
純資産合計	7,304,460	7,698,627
負債純資産合計	13,537,082	17,555,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	12,409,943	16,975,361
売上原価	6,716,927	9,797,954
売上総利益	5,693,015	7,177,407
販売費及び一般管理費	4,622,735	5,916,777
営業利益	1,070,280	1,260,630
営業外収益		
預り金失効益	51,196	55,149
保険解約返戻金	—	23,844
その他	60,697	13,482
営業外収益合計	111,893	92,476
営業外費用		
支払利息	4,580	41,961
支払手数料	—	38,076
持分法による投資損失	—	22,041
その他	26,852	18,769
営業外費用合計	31,432	120,850
経常利益	1,150,741	1,232,255
特別利益		
新株予約権戻入益	11,438	778
特別利益合計	11,438	778
税金等調整前四半期純利益	1,162,180	1,233,033
法人税等	440,987	672,230
四半期純利益	721,192	560,802
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,490	31,365
親会社株主に帰属する四半期純利益	705,702	529,437

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	721,192	560,802
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,568	△2,583
その他の包括利益合計	11,568	△2,583
四半期包括利益	732,761	558,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	717,270	526,854
非支配株主に係る四半期包括利益	15,490	31,365

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下、「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,633,617	17,592	1,651,209	2,500	—	1,653,709
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	10,156,872	513,654	10,670,526	13,816	—	10,684,342
顧客との契約から生じる収益	11,790,489	531,246	12,321,735	16,316	—	12,338,052
その他の収益	—	—	—	71,891	—	71,891
(1) 外部顧客への売上高	11,790,489	531,246	12,321,735	88,207	—	12,409,943
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	157	157	—	△157	—
計	11,790,489	531,403	12,321,893	88,207	△157	12,409,943
セグメント利益又は損失(△)	1,077,877	△69,336	1,008,540	61,739	—	1,070,280

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。
なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては169,016千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社蒼天の株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては126,437千円であります。

ビジネス向けSaaS事業セグメントにおいて、株式会社AI techの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては270,698千円であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	1,457,830	15,895	1,473,725	72,071	—	1,545,797
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	14,594,453	818,911	15,413,364	16,200	—	15,429,564
顧客との契約から生じる収益	16,052,283	834,806	16,887,090	88,271	—	16,975,361
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	16,052,283	834,806	16,887,090	88,271	—	16,975,361
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,959	315	4,274	—	△4,274	—
計	16,056,243	835,121	16,891,364	88,271	△4,274	16,975,361
セグメント利益又は損失(△)	1,268,634	37,004	1,305,638	△45,008	—	1,260,630

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,001,831千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	23,404千円	49,803千円
のれん償却額	149,717千円	411,967千円